

生活交通確保維持改善計画

目的・必要性

対象路線及び地域には主要な公共施設や病院、商業施設、高等学校がなく、また市中心部からも遠いことから、自家用車を持たない住民にとって対象路線は通学通院、買物等のために市中心部へ移動する唯一の手段であり、その維持確保が必要とされている。

路線バス、乗合タクシーを維持確保し、地域間交流による市全域の活性化を図り、持続可能な公共交通システムを構築することを目的とする。

確保・維持する系統の概要

【地域内フィーダー系統】

- 水野尾線
 - ・運行事業者：弘南バス株式会社
 - ・系統数：1系統
 - ・運賃：120円～200円（協議運賃）
 - ・運行日：毎日運行（1便、土日祝運休あり）
- 飯詰・金山地区予約型乗合タクシー（運行事業者：株式会社尾崎タクシー）
 - ・運行日：火・木曜日
- 梅沢・七和地区予約型乗合タクシー（運行事業者：五所川原交通株式会社）
 - ・運行日：火・金曜日
- 長橋地区（運行事業者：株式会社木村タクシー）
 - ・運行日：月・金曜日
- 中川地区（大字川山・種井）（運行事業者：株式会社木村タクシー）
 - ・運行日：火・木曜日



事業・実施主体

- ・系統や便数、運行ダイヤの見直し（各運行事業者、五所川原市）
- ・各地区に対する周知徹底

定量的な目標・効果

【目標】

年間利用者数
路線バス4,600人以上、予約型乗合タクシー222人以上

【効果】

運行対象地区に路線バス及び予約型乗合タクシーを運行することで、各地区の交通弱者の足が確保される。

基礎データ

合併状況：平成17年に五所川原市、金木町、市浦村が合併
人口：51,435人
面積：404.20km²
協議会開催数：3回（令和4年10月～令和5年9月）
高齢化率：35.71%

前回の評価結果

令和4年度計画新規事業のため、前回事業評価なし

評価項目

実施状況、目標・効果の達成状況

【実施状況等】

水野尾線については、チラシ配布による周知などにより、目標を達成することが出来る見込み。ただし、市内他路線と比較すると乗車率が低いことから、周知のほか路線再編等も見据えて乗車率の向上を図る必要がある。

予約型乗合タクシーについては、各地区想定より多くの利用がされていることから引き続き啓発活動により新規利用者の拡大に努める。

【実績】水野尾線（達成率—%）※R4.12現在の乗降データなし
予約型乗合タクシー（梅沢地区・七和地区）107人（達成率181.35%）※R4.12現在
予約型乗合タクシー（飯詰地区・金山地区）78人（達成率93.58%）※R4.12現在
予約型乗合タクシー（長橋地区）112人（達成率134.93%）※R4.12現在
〔内訳〕A:2件、B:1件、現時点で不明1件

※評価の判定基準

- ・A ⇒ 目標達成100%以上
- ・B ⇒ 目標達成80%以上100%未満
- ・C ⇒ 目標達成80%未満、又は、補助対象外（1運行当たり2人未満、運行割合30%未満）

事業の今後の改善点

水野尾線については利用者数が増加しており、引き続き他路線についても、利便性が高く効率的な運行を確保することが課題である。

乗合タクシーに関しては、認知度の向上を図るため、継続して広報やチラシによる周知を対象地区に行ってきた効果により、目標を達成することができた。交通空白エリアが未だに点在していることから、運行範囲の拡大等を図るなど検討を要する。

五所川原市地域公共交通活性化協議会

補助系統番号：(1) 水野尾線 (2) 予約型乗合タクシー (飯詰地区・金山地区) (3) 予約型乗合タクシー (長橋地区) (4) 予約型乗合タクシー (梅沢地区・七和地区) (5) 予約型乗合タクシー (中川地区 (大字川山・種井))

凡例

幹線系統バス

青森五所川原線

【主な停留所】 青森営業所-文化会館前-市役所前-青森駅前-新青森南口
狼野長根-五所川原営業所-つがる総合病院前-五所川原駅前

出来島線

【主な停留所】 五所川原営業所-五所川原駅前-大町-イオンモール柏-
木造高校前-しゃこちゃん温泉前-木造-出来島北口

小泊線

【主な停留所】 五所川原営業所-五所川原駅前-つがる総合病院前-
かなざ病院前-斜陽館前-中里駅前-市浦庁舎-小泊案内所

市浦庁舎線

【主な停留所】 五所川原営業所-五所川原駅前-つがる総合病院前-
イオンモール柏-木造高校前-館岡-車力-十三-市浦庁舎

五所川原鎌ヶ沢線

【主な停留所】 五所川原営業所-五所川原駅前-つがる総合病院前-
イオンモール柏-つがる市役所前-床舞-鎌ヶ沢駅前-小夜

市内路線バス

水野尾線

【主な停留所】 五所川原営業所-五所川原駅前-つがる総合病院前-
エルムの街-アクロスプラザ-カプセンター-水野尾コミセン

鉄道

津軽鉄道線

JR 五能線

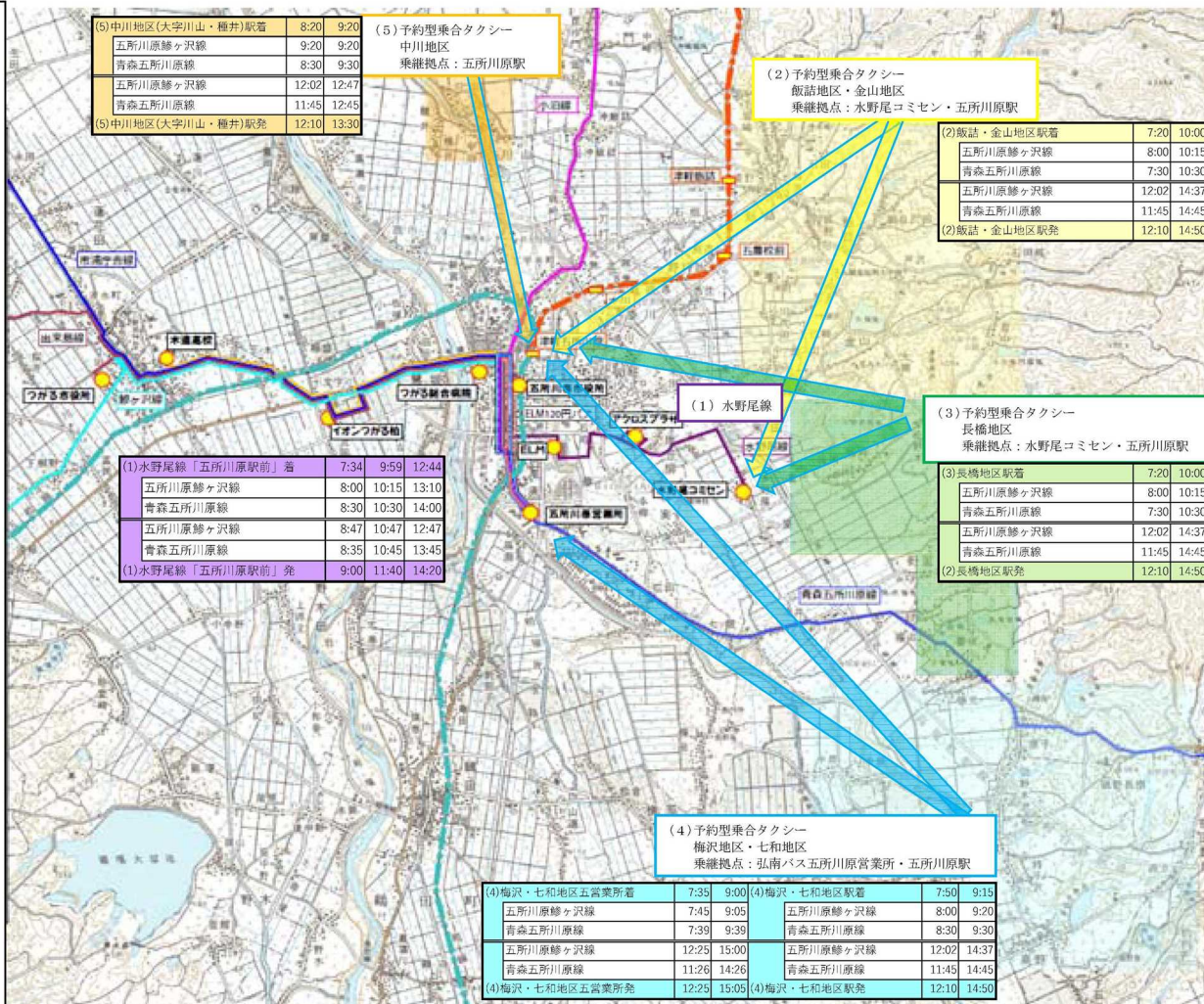
予約型乗合タクシー運行地区

飯詰地区・金山地区

長橋地区

梅沢地区・七和地区

中川地区 (大字川山・種井)



地域の概要

1. 基礎データ

五所川原市
 人口：52,104人
 (R4.3.31現在・住民基本台帳)
 面積：404.20平方キロメートル
 過疎地域等指定：過疎
 高齢化率：36.07%
 交通会議開催数：4回
 (R4.4 ~ R4.12)

2. 公共交通の概況

【乗合バス】

①路線バス

運行：弘南バス(株)
 路線：15路線22系統

【鉄道】

運行：東日本旅客鉄道(株)、津軽鉄道株式会社
 路線：在来線2路線

【乗合タクシー】

運行：タクシー事業者3社
 エリア：5地区

【スクールバス】

運行：運行事業者7社
 エリア：市内全地区

【患者輸送車】

運行：運行事業者1社
 エリア：市浦地区

路線バス利用者の減少により路線の統合や廃止を実施しており、その代替として主に予約型乗合タクシーを運行しているが、より必要とされる持続可能な交通体系を構築するため、地域公共交通網の形成が必要となる。

3. 公共交通の問題点

- (1) まちづくりと連携した交通体系の構築が必要
- (2) 公共交通を支える体制づくりの強化が必要
- (3) 交通弱者に対応した公共交通が必要
- (4) 人口減少・少子高齢化社会に対応するための交通資源の有効活用が必要
- (5) 公共交通の利用方法など分かりやすい情報提供・利用促進が必要

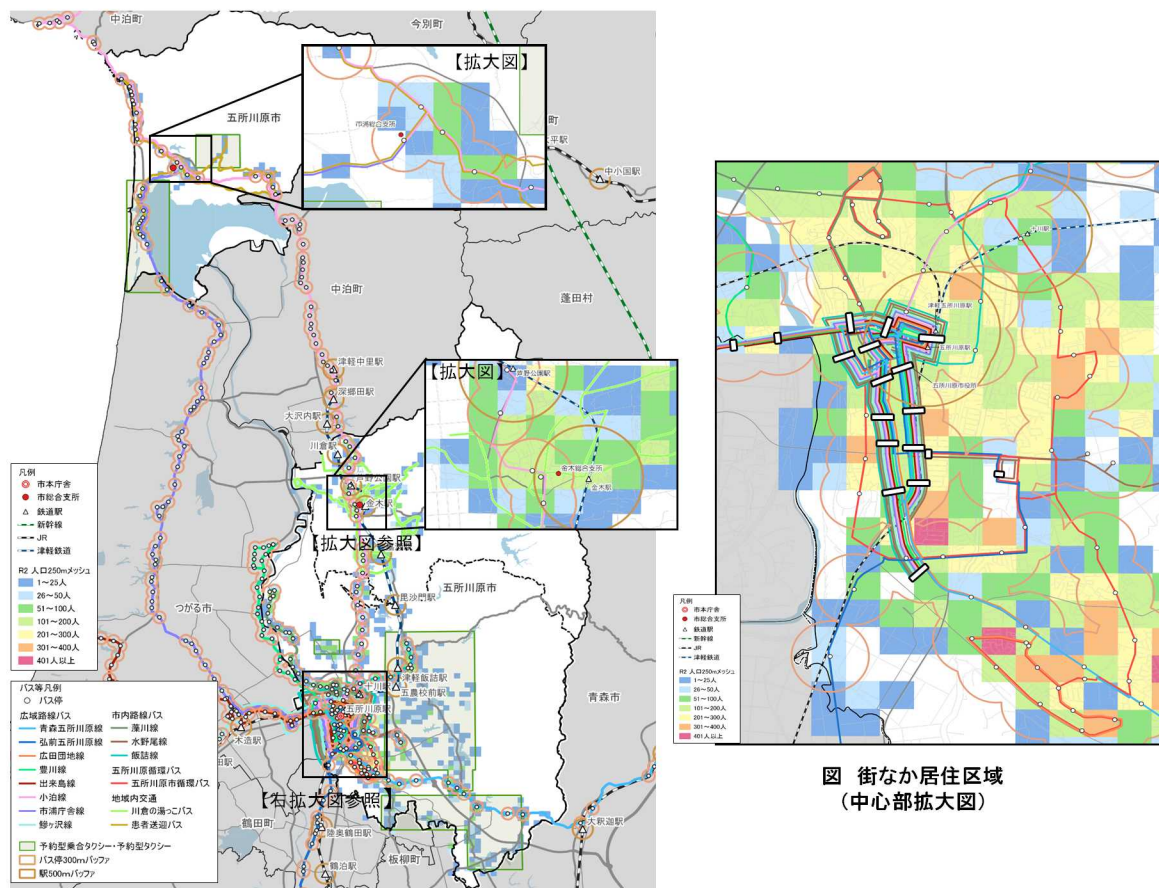


図 街なか居住区域 (中心部拡大図)

図 市内の公共交通空白地域

五所川原市地域公共交通活性化協議会

調査内容

【事業評価時点で完了している内容】

1. 地域特性の整理
2. 公共交通の実態等の整理
3. 各種調査の実施
 - (1) 市民アンケート調査
 - (2) 市循環バス利用実態調査
 - (3) 関係団体・施設等アンケート調査
4. 現計画の検証
5. 公共交通の問題点・課題点の整理
6. 課題を踏まえた基本方針等の検討
7. 具体施策の検討

【今後予定している内容】

8. 五所川原市地域公共交通計画のとりまとめ
9. 地域公共交通活性化協議会開催残り2回

調査結果概要

1. 地域特性の整理

- ・五所川原市、金木町、市浦村が合併して構成され、津軽半島北西部に位置し、市浦地域は飛び地となっている。
- ・五所川原市の総人口は平成2年から減少し続け、令和2年までに12,428人減少している。
- ・令和2年から5年後の令和7年の推計人口は47,427人となり、このうち65歳以上の総人口の割合は38.8%と見込まれる。

2. 公共交通の実態等の整理

- ・鉄道、バス路線及び予約型乗合タクシーの利用状況について整理

3. (1) 市民アンケート調査結果(2,000票配布、887票回収(回収率・44.35%))

- ・今後の「公共交通のあり方」などについて検討するため、「市民の日常的な移動実態の把握」「エリア別の公共交通利用状況・外出時の不便事項等の把握」「網形成計画の検証」のためアンケート調査を実施。

3. (2) 市循環バス利用実態調査 288票回収(バスに乗り込み、調査カードにより実施)

- ・市内における民間企業等が実施する公共交通以外の移動サービスの運行状況や利用状況、公共交通に対する意見・要望等を把握するため実施。

3. (3) 関係団体・施設等アンケート調査結果125票配布、124票回収(回収率・99%)

- ・市内における民間企業等が実施する公共交通以外の移動サービスの運行状況や利用状況、公共交通に対する意見・要望等を把握するため実施。

<課題等>

- ・外出実態と公共交通の運行状況とを照らし合わせた結果から「市民の日常生活を支える公共交通網の構築」が重要である。
- ・停留所別便別の顕在需要と交通弱者の潜在需要を踏まえると「利用実態・移動ニーズを踏まえた利便性向上」が課題となっている。
- ・将来人口や公共交通の利用状況・運行状況等を踏まえると「将来的な需要を見据えた持続可能な公共交通網の構築」が必須である。
- ・上位関連計画のまちづくりの方向性等から「まちづくりと連携した公共交通網の構築」が必要となる。

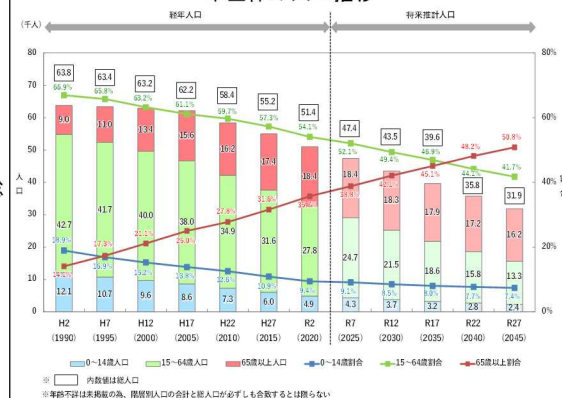
<基本的な方針>(案)

- 方針①: 市民が安心して外出できる利便性の高い公共交通ネットワークの実現
- 方針②: 地域と連携した持続可能な公共交通の実現
- 方針③: わかりやすく利用しやすい公共交通の実現

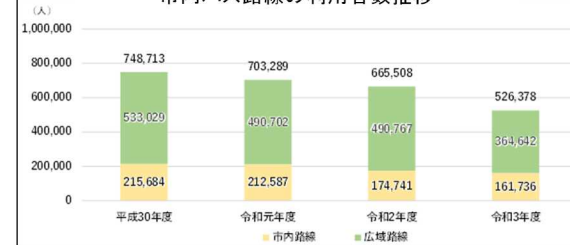
<目標>(案)

- 目標①: まちづくりと連携した最適で利便性の高い市内路線の整備
- 目標②: 本市と市外を結ぶ広域路線ネットワークの維持確保
- 目標③: 公共交通サービスを安定的に提供できる体制の構築
- 目標④: 公共交通の利用環境整備と利用促進

市全体の人口推移



市内バス路線の利用者数推移



今後の取組みについて

【スケジュール(予定)】

- 1月27日 第5回協議会開催
- 4月中旬 R5年第1回協議会開催
- 4月下旬 パブリックコメント実施
- 5月下旬 議会に対する説明
- 6月下旬 公共交通計画の決定

【地域の交通の目指す姿】

各種関連施策については地域公共交通計画に位置付け、目標を明確にしたうえで、関連施策の実現に向けて各関係機関と協議のうえ実施を目指し、持続可能な公共交通網の構築のため「地域公共交通確保維持改善事業」の活用を積極的に活用していくことを検討する。